

世の中には、挨拶や返事、後始末など社会人として（できて当たり前）と思われていることがたくさんあります。しかし、当たり前と思われていることが、本当にできているでしょうか。

実は、自分はできていると思っただけで、実際にはできていないことも多々あるのではないのでしょうか。二つの事例をご紹介します。

▽

ある日、S社長が何も言わずに横を通り過ぎた社員に対して、「挨拶ぐらい、ちゃんとしなさい」と注意しました。すると、社員から「社長も私に挨拶してないじゃないですか」と思わぬ言葉が返ってきたのです。その言葉に一瞬腹が立ったS社長でしたが、（確かにそうだな。今、私は彼に対して挨拶をしなかった。まずは私から挨拶をするべきだった）と反省しました。

「改めて、おはようございます。大切なことを教えてくれて、どうもありがとう」とS社長は挨拶をすると同時に、感謝の言葉を付け加えたのです。すると社員から「偉そうなことを言っただけ、たいへん申し訳ありませんでした。これからは、ちゃんと私から挨拶をするようにいたします」と、「挨拶はどちらが先」という話題を通じて、互いに反省と改善の思いを共有したのです。

後日、同じ社員から「最近、S社長、明るいですよね。社長から挨拶されると、なんだか元気がもらえるんですよ」と言われました。

その言葉を聞き、（挨拶を意識して行ない、その挨拶に心が伴っているからこそ、相手の捉え方が変わったのだな）と思ったのです。

社員とのやり取りを終えた後、S社長は（こうあるべきだ。これは誰でもやるべきだ）などと自



## 日常の小さな 行動に心を添える

分のモノサシで考えていることを、当の本人はどれだけ行動に移せていただろうかと考えて、改めて自身の日常生活を見直すようになったのでした。日常の小さな実践やちよつとした行動に意識を向けながら、心を添えて取り組むことで、人は大きく変わることができます。そして、自分の行動を見直してみることで、「できていなかった」という反省点にも気づくことができるのです。

▽

Tさんの家庭では、妻が家事全般を切り盛りしてくれます。Tさんは子供に「自分のできることは、自分でやりなさい」と常日頃、伝えていますが、いざ自分を顧みると、食後に食器を片付けることさえ行なっていない。

（これではダメだな）と思い、子供に言うだけでなく、自分ができることは自分でやろうと決意しました。色々と実行に移していくと、妻から「あなた、最近どうしたの」と驚かれました。「これからは、自分でできることは自分でやることにした。今まで、色々ありがとう」と素直に感謝の思いを伝えました。すると、妻から「こちらこそ、いつもありがとう。お仕事、ご苦労様です」と言われ、その言葉に恥ずかしくなったといえます。

Tさんは職場でも、挨拶、返事、後始末などを意識的に取り組むようになりました。その際、当たり前と思われがちなることに目を向けて、その行動に心を添えるようになったといえます。

二人に共通することは、今までできていると思っていたことでも、意識的に振り返ると、たりない自分に気づけるようになったことです。挨拶、返事などの小さなことも、心を添えることで、その行動に深みが増すのです。